

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
太田川沖合1km付近(T-S1) ※	カスザメ(筋肉)	2021/8/4	< 3.6E+00	< 3.1E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※	ガザミ(全体)	2021/8/4	< 4.0E+00	< 3.3E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※	二ベ(筋肉)	2021/8/4	< 3.3E+00	< 3.7E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/8/4	< 3.8E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2) ※	ガザミ(全体)	2021/8/4	< 2.8E+00	< 3.2E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2) ※	コモンカスベ(筋肉)	2021/8/4	< 4.0E+00	< 3.7E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2) ※	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/8/4	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND
小高区沖合3 km付近(T-S2) ※	ホウボウ(筋肉)	2021/8/4	< 3.4E+00	< 3.3E+00	ND
請戸川沖合3 km付近(T-S3) ※	アカエイ(筋肉)	2021/8/6	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合3 km付近(T-S3) ※	ガザミ(全体)	2021/8/6	< 2.9E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ※ 7月に採取予定としていたが、悪天候により8月に実施。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(2/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合3km付近(T-S3)※	コモンカスベ(筋肉)	2021/8/6	< 3.3E+00	5.2E+00	5.2E+00
請戸川沖合3km付近(T-S3)※	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/8/6	< 3.8E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3)※	ホウボウ(筋肉)	2021/8/6	< 4.1E+00	< 3.8E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)※	コモンカスベ(筋肉)	2021/8/6	< 3.3E+00	3.6E+00	3.6E+00
1F敷地沖合3km付近(T-S4)※	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/8/6	< 3.6E+00	< 2.9E+00	ND
1F敷地沖合3km付近(T-S4)※	ホウボウ(筋肉)	2021/8/6	< 3.6E+00	< 4.3E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)※	カスザメ(筋肉)	2021/8/3	< 3.1E+00	< 4.0E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)※	コモンカスベ(筋肉)	2021/8/3	< 3.5E+00	< 3.5E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)※	ババガレイ(筋肉)	2021/8/3	< 3.0E+00	< 3.7E+00	ND
木戸川沖合2km付近(T-S5)※	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/8/3	< 2.7E+00	< 3.0E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1×10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。
- ※7月に採取予定としていたが、悪天候により8月に実施。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(3/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
木戸川沖合2 km付近(T-S5) ※	ホシザメ(筋肉)	2021/8/3	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND
木戸川沖合2 km付近(T-S5) ※	マゴチ(筋肉)	2021/8/3	< 3.5E+00	< 3.7E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7) ※	コモンカスベ(筋肉)	2021/8/3	< 3.4E+00	< 3.9E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7) ※	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/8/3	< 3.8E+00	< 3.9E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7) ※	ヒラメ(筋肉)No.2	2021/8/3	< 3.2E+00	< 4.0E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7) ※	ホウボウ(筋肉)	2021/8/3	< 3.5E+00	< 2.9E+00	ND
2F敷地沖合2 km付近(T-S7) ※	マダイ(筋肉)	2021/8/3	< 3.1E+00	< 3.8E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8) ※	カスザメ(筋肉)	2021/8/5	< 3.7E+00	< 4.3E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8) ※	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/8/5	< 3.6E+00	< 3.9E+00	ND
熊川沖合4 km付近(T-S8) ※	ホウボウ(筋肉)	2021/8/5	< 3.7E+00	< 3.8E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・○.○E±○とは、○.○×10^{±○}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ※7月に採取予定としていたが、悪天候により8月に実施。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(4/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合15km付近(T-B1)	カナガシラ(筋肉)	2021/7/20	< 4.0E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	キアンコウ(全体)	2021/7/20	< 4.0E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	コモンカスベ(筋肉)	2021/7/20	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マガレイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.5E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マダイ(筋肉)	2021/7/20	< 4.1E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	マトウダイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.8E+00	< 3.0E+00	ND
小高区沖合15km付近(T-B1)	ムシガレイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	アイナメ(筋肉)	2021/7/20	< 2.9E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	カナガシラ(筋肉)	2021/7/20	< 3.5E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	キアンコウ(全体)	2021/7/20	< 3.2E+00	< 3.1E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^{-1} で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(5/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合18km付近(T-B2)	コモンカスベ(筋肉)	2021/7/20	< 3.8E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ババガレイ(筋肉)	2021/7/20	< 2.7E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/7/20	< 3.9E+00	< 3.8E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ホウボウ(筋肉)	2021/7/20	< 3.2E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マガレイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.2E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マコガレイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マダイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	マトウダイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.4E+00	< 3.3E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)	ムシガレイ(筋肉)	2021/7/20	< 3.5E+00	< 3.2E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)	イシガレイ(筋肉)	2021/7/21	< 3.6E+00	< 3.7E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(6/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	カナガシラ(筋肉)	2021/7/21	< 4.0E+00	< 3.7E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	キアンコウ(全体)	2021/7/21	< 3.7E+00	< 4.7E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	コモンカスベ(筋肉)	2021/7/21	< 2.9E+00	< 3.2E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ショウサイフグ(筋肉)	2021/7/21	< 3.2E+00	< 3.6E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	チダイ(筋肉)	2021/7/21	< 3.4E+00	< 3.7E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ババガレイ(筋肉)	2021/7/21	< 2.7E+00	< 3.1E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ヒラメ(筋肉)No.1	2021/7/21	< 3.6E+00	< 4.0E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	ホシザメ(筋肉)	2021/7/21	< 4.0E+00	< 3.4E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	マコガレイ(筋肉)	2021/7/21	< 3.6E+00	< 3.5E+00	ND
1 F 敷地沖合10km付近(T-B3)	マトウダイ(筋肉)	2021/7/21	< 4.1E+00	< 3.1E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^{-1} で31，3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1，3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(7/7)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	ムシガレイ(筋肉)	2021/7/21	< 4.0E+00	< 3.5E+00	ND
1 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B3)	メイタガレイ(筋肉)	2021/7/21	< 3.6E+00	< 3.6E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	カナガシラ(筋肉)	2021/7/21	< 3.5E+00	< 4.4E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	キアンコウ(全体)	2021/7/21	< 3.5E+00	< 3.9E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	コモンカスベ(筋肉)	2021/7/21	< 3.4E+00	< 3.0E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	チダイ(筋肉)	2021/7/21	< 3.7E+00	< 3.6E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ホシザメ(筋肉)	2021/7/21	< 2.6E+00	< 4.0E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	マトウダイ(筋肉)	2021/7/21	< 3.5E+00	< 3.4E+00	ND
2 F 敷地沖合 10 km 付近(T-B4)	ムシガレイ(筋肉)	2021/7/21	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
 - ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・分析機関：東京パワーテクノロジー(株)
 - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^{-1} で31，3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1，3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。